

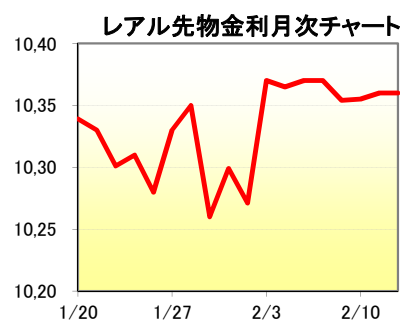
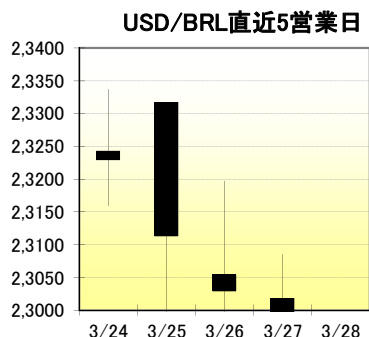
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3210	2,3060	2,3090	2,2660	2,2630	-0,0030
	USD/YEN	Spot	102,23	102,29	102,07	102,19	102,83	+0,6400
	EUR/USD	Spot	1,3839	1,3827	1,3798	1,3743	1,3750	+0,0007
	BRL/YEN	Spot	43,99	44,26	44,32	45,24	45,48	+0,2400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,14	1,14	1,11	1,04	1,00	-0,0390
		1Year(p.a.)	1,54	1,52	1,45	1,34	1,30	-0,0400
	Real Interest	6MTH(p.a.)	11,00	11,01	10,98	10,98	10,95	-0,0236
		1Year(p.a.)	11,40	11,36	11,36	11,39	11,37	-0,0129
Stock	Bovespa		47.993	48.180	47.966	49.647	49.768	+121,27
Bond	CDS Brazil 5y		180,00	179,00	172,00	163,00	163,00	u,c,
	Global 40		113,450	113,300	113,425	113,400	113,400	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FGVインフIGPM(前月比)	1.53%	1.67%	0.38%	なし
FGVインフIGPM(前年比)	7.18%	7.30%	5.76%	
純債務対GDP比	33.5%	33.7%	33.3%	
基礎的財政収支	-0.4B	2.1B	19.9B	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は $US\$1=R\2.3240 で寄り付いた。
- 週初のリアルは寄り付き後買いが優勢となるも海外でリスクオフモードが強く見られるとリアルは週間安値となる $US\$1=R\2.3340 まで売り戻された。尚、マーケット時間終了後に経済成長の低迷と拡張的な財政政策で政府の債務レベルの上昇に拍車が掛かっていることを要因に、米系格付け会社がブラジルの格付けを「BBB」から「BBB マイナス」に1段階引き下げた。
- 翌25日には上記を受けてリアルが大きく下落すると市場では予想されたが、市場予想に反してリアルは反発、2,3000を上抜ける展開となった。格下げは予想されていたことから大きなサプライズが見られなかったほか、年内はこれが唯一の格下げになるとの見方が広がり、好感された。
- 週央にかけては伯中銀によるドル売り介入で伯中銀が通常の6割のみ供給したことから伯中銀が更なるリアル高に歯止めをかけようとしているとの思惑が強まり、リアルは一気に2,3200まで反落したが、直後に伯中銀は残りの4割を供給し、リアルは2,30台前半まで買い戻された。
- 翌27日には伯中銀によるドル売り介入に加え、大口の資金流入が見られるとリアルは大きく上昇した。更に世論調査でルセフ大統領の支持率が12月の43%に対して36%に低下したことが市場では好感され、リアルは2,26台前半まで続伸、株式市場も大きく買われる展開となった。
- 週末にかけては大口の資金流入の噂が聞かれるとリアルは週間高値となる $US\$1=R\2.2510 を付けた後、2,2600を中心に前後し、結局 $US\$1=R\2.2610 で越えた。

当資料は市場情報の提供を目的としたものであり、投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものであり、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
4/1	FGV CPI IPC-S	mar/31	--	0.83%
4/1	PPI 製造業(前月比)	Feb	--	1.50%
4/1	PPI 製造業(前年比)	Feb	--	7.38%
4/1	HSBCブラジル製造業PMI	Mar	--	--
4/1	貿易収支(月次)	Mar	-\$105M	-\$2125M
4/1	総輸出	Mar	\$19100M	\$15934M
4/1	総輸入	Mar	\$19300M	\$18059M
4/2	FIPE消費者物価指数(月次)	Mar	--	0.52%
4/2	鉱工業生産(前月比)	Feb	0.6%	2.9%
4/2	鉱工業生産(前年比)	Feb	3.4%	-2.4%
4/2	自動車販売台数(ブラジル自動車販売)	Mar	--	259357
4/2	SELICレート	Apr 2	11.00%	10.75%
4/2	CNI設備稼働率(季調済)	Feb	--	82.7%
4/2	商品価格指数(前年比)	Mar	--	14.02%
4/2	商品価格指数(前月比)	Mar	--	4.27%
4/3	HSBCブラジル コンポジットPMI	Mar	--	--
4/3	HSBCブラジル サービス業PMI	Mar	--	50.8
4/4	自動車生産台数(ブラジル自動車工業)	Mar	--	281452
4/4	自動車販売台数(ブラジル自動車工業)	Mar	--	259328
4/4	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	Mar	--	28843

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.25-2.30

今週は米各付け会社がブラジルの格付けを「BBB」から「BBB マイナス」に1段階引き下げた。市場では引き下げ決定のタイミングが若干早いとの反応が見られた一方、見通しがネガティブからステイブルに変更されたことで当分の間、投資適格級以下に再度引き下げられるリスクが低くなったとの見方が強くレアル相場への影響は限定的となった。更に格下げ直後に伯中銀は海外シナリオの変化に対してブラジルは対応する準備ができているとコメントし、市場では好感されレアルは昨年11月以来の低水準である2.25台前半まで買われる展開となった。レアル高傾向がどこまで続くかが市場ではまだ予想がつかず、来週のイベントや経済指標の発表の結果が鍵となろう。国内では伯金融政策委員会(COPOM)の開催が予定されており、0.25%の利上げが予想される。海外では米ADP雇用統計やISM製造業景況指数の発表を控えており、レアル相場のボラティリティは引き続き高いことが予想される。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department